



教員が研究の楽しさを語る

第299回(11/12)大隅 尚広先生推薦 ブックガイド



※掲載されている本はN棟3階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

サイコパス：冷淡な脳

著者：ジェームズ・ブレア, デレク・ミッチェル, カリナ・ブレア著；福井裕輝訳

出版：星和書店, 2009.7

コメント：サイコパスと呼ばれる人はなぜ他人を傷つけるのでしょうか。そのような疑問に対して、この本は実証的知見に基づいて仮説を提供します。認知機能のモデルや、神経生理学的基盤などの解説を含むため、一般向けとしては難しく思えるかもしれませんが、科学的な視点でサイコパシーを理解することができます。

[この本を読む→ https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10133777](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10133777)

Book2

サイコパス：秘められた能力

著者：ケヴィン・ダットン著；小林由香利訳

出版：NHK出版, 2013.4

コメント：一般的にサイコパシーの否定的な特徴が注目を集めますが、この本はサイコパシーの特性が社会で生きるうえで有利になる可能性について言及します。挑戦的な内容で、サイコパシーに関する中立的な視点を提供します。

[この本を読む→ https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10133778](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10133778)

Book3

心理生理学：こころと脳の心理科学ハンドブック

著者：J.L.アンドレアッシ著

出版：北大路書房, 2012.1

コメント：緊張すると心臓の鼓動が高まったり、嬉しいことがあると顔の筋肉が自然に動いたりします。心理生理学（生理心理学）は、このような身体の活動や脳の活動に基づいて心のメカニズムを解き明かそうとする分野です。この本は、生理学的機序や計測方法の基礎的解説や、心のはたらきとの関連性の紹介により、初学者の学習を助けてくれます。

[この本を読む→ https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10133779](https://opac.ll.chiba-u.jp/opac/opac_link/bibid/FB10133779)